

Back Number

本論文は

世界経済評論 2020年5/6月号

(2020年5月発行)

掲載の記事です



世界経済評論

定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

6,600円

税込

17%

送料無料

OFF

富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

定期購読
期間中

デジタル版バックナンバー読み放題!!



世界経済評論 定期購読



☎0120-223-223

[24時間・年中無休]

お支払い方法

Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

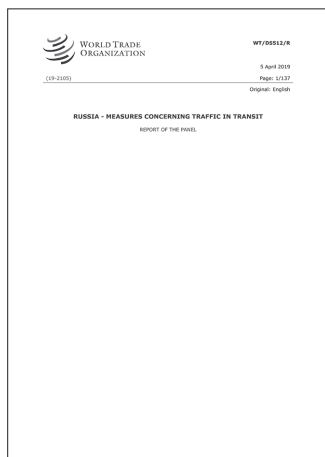
Fujisan.co.jp

雑誌のオンライン書店

Russia-Measures concerning Traffic in Transit

: Report of the Panel

東京大学名誉教授・元 WTO 上級委員 松下 満雄



WTO のパネル報告

2019 年 4 月 5 日

A5 判, 137 ページ

https://www.wto.org/english/tratop_e/dispu_e/512r_e.pdf

WTO は世界貿易の自由を原則としているが、戦争及び緊急事に対応するため安全保障例外（ガット 21 条）を認めている。この安全保障例外については、いままで WTO の判断事例がなかったが、2019 年 4 月 5 日に WTO パネルがウクライナ対ロシア事件において、この点に関して初めて判断を下したので、概要を紹介する。ウクライナとロシアはロシアのクリミア半島併合等を巡って紛争状態にあり、またウクライナは内戦状態にある。ロシアはこの紛争において親口・グループを支援している。米国、その他西欧諸国が対口経済制裁を実施し、ロシアもまた、これに対して報復措置として通

商制限を行っている。

ロシアはウクライナ発カザフスタン向けの貨物がロシア／ウクライナ国境を通過することを禁止し、かかる貨物はウクライナからロシアを経由しベラルーシ／ロシア国境を経由しなければならないこと、及び、ロシアは原則として対口制裁を実施する国を起源とするある種のカザフスタン及びキルギスタン向け貨物がウクライナからロシア領内を経由することを禁止すること等の措置をとった。ウクライナはかかる措置がガット 5 条に定める加盟国間通商における貨物通過の自由に反するとして、WTO に対して対口提訴を行った。

ロシアは、かかる措置は戦争及びそれに準ずる緊急事態に対処するためのものでガット 21 条によって認められ、パネルの判断権の範囲外であると主張した。パネルは審議の後に、これらの事項についてパネルに審査権があることを確認したうえで、ロシアの措置は「緊急事態」に対処するためのもので、かかる措置はガット 21 条に規定する緊急事態に該当し、そのために必要な措置であるので、WTO 規律の範囲外であると決定した。

現在継続中の米国の鉄鋼とアルミについての関税賦課に対して、9 か国・地域が WTO に対米提訴をしているが、これに対して米国は、上記の事件におけるロシアの主張と全く同一の主張によって防戦をしている。もっともロシア／ウクライナ紛争とは異なり、米国は関税賦課対象国と交戦状態にあるわけではないので、ロシア／ウクライナ紛争事例に基づくような「緊急事態」が認められるかは分からない。いずれにせよ国家安全保障と自由貿易の関係は通商における重大問題であり、これを有効に解決できるかに WTO の将来がかかっていると言っても過言ではない。なお、敗訴国ウクライナはこのパネル決定に対して上訴しなかったため、この報告書は WTO の正式決定として採択されている。（まつした みつお）